

ソーシャルイノベーションにおける リーガルサービスの潜在的ニーズ

シェアリングエコノミー推進プログラムの策定／スポーツ法務の経験から

公益財団法人日本スポーツ仲裁機構（JSAA）での活動等、
弁護士が活躍できるリーガルサービスの潜在的ニーズについて考えます。



第一東京弁護士会 弁護士 **石原 遥平** 氏

経歴：スタートアップ企業内弁護士として働きながら、内閣官房IT戦略室と協働してシェアリングエコノミー検討会議で安全・安心な利用のためのモデルガイドラインの策定に関与。観光庁と協働して民泊新法の仕組み作りにも関与する。

日時：2017年 **2月13日**(月) **17:00~19:00**

場所：豊中キャンパス 国際公共政策研究科2階講義シアター

主催：国際公共政策研究科稲盛財団寄附講座
共催：法学研究科、高等司法研究科、産学連携本部イノベーション部CLIC
後援：大阪大学医学部附属病院 国際医療センター

問い合わせ先：国際公共政策研究科 安藤由香里
Tel: 06-6850-5995 Email: ando@osipp.osaka-u.ac.jp